

文の成分

文はいくつかの部分から成り立っている。その文を組み立てている部分を「文の成分」という。

☆主語と述語

・何が(は) ———— どうする 例 犬が 歩く。

・何が(は) ———— どんناد 例 犬は かわいい。

・何が(は) ———— 何だ 例 犬は 動物だ。

右の「何が(は)」にあたる文節を「主語」といい、「どうする」「どんناد」「何だ」にあたる文節を、「述語」という。

☆修飾語

例 白い 鳥が 大空を 飛ぶ。

右の文で、「白い」ということは、「鳥が」どのようなものであるかを説明している。また、「大空を」は、「飛ぶ」のどこでかという説明を加えている。このように、他の文節をくわしくする文節を「修飾語」という。

☆接続語 文と文、文節と文節をつなぐ。

例 ドアが開いた。そして女の人が入ってきた。

☆独立語 他の部分と直接関係がなく、単独での働きしかない。

例 まあ、なんてかわいい花でしょう。

品詞の種類と使い方

・名詞 人や事物の名前を表す。

例 父・運動・フランス・三時・これ

・動詞 動作や存在を表す。

例 歩く・話す・泳ぐ・いる・ある

・形容詞 ものごとの状態や性質を表す。「い」で終わる。

例 美しい・細かい・おとなしい

・形容動詞 ものごとの状態や性質を表す。「だ」で終わる。

例 静かだ・奇妙だ・見事だ

・副詞 程度や様子を表す。活用がない。

例 やはり・とても・ゆっくりと

・連体詞 体言(名詞)を修飾する。

例 あの・大きな・いわゆる

・接続詞 文と文などをつなぐ。

例 ところが・つまり・さて

・感動詞 感動や呼びかけなどを表す。

例 あれ・こんにちは・もしもし

・助詞 他のことばに付いて、意味をそえる。活用がない。

例 が・の・を・も・から・ばかり

・助動詞 他のことばに付いて、意味をそえる。活用がある。

例 れる・られる・た・らしい・たい

1

次の各文の中から主語と述語を書きぬきなさい。

(1) きのう、ぼくは、おばさんから おいしい おかしを もらった。

主語

述語

(2) きれいだよ、公園に さく さくらの 花は。

主語

述語

(3) わたしは きのう 兄と 博物館に 行った。

主語

述語

(4) 暗く なったので、君たちも 家に 帰りなさい。

主語

述語

(5) 我々は 自分の 行動に ほこりを 持とう。

主語

述語

2

次の各文の~~~~線部が修飾している(くわしく説明している)ことをを——線ア〜カから選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 水辺に いた 鳥たちが 大空に むかって いっせいに 飛び 立った。

(2) わたしは 将来 古くから 伝わる 日本の 文化を 学びた

(3) まどから 手を ふりながら たれかを よんでいるよ、小さな 女の子が。

(4) きのう わたしは けがで 入院した 友達の 見まいに 行った。

(5) ある 学者が 新しい 生物の 発見を 学会で 発表した。

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

3

次の各文の——線部の働きをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 午後には どうやら 雨も 強く ふるらしい。

(2) わたしの ふるさとは 海辺の 小さな 町です。

(3) あら、予定より ずいぶん 早く 着きましたね。

(4) ずいぶん 大きいね、あの 古い 建物は。

(5) 夏休みには 海 または 山に 行く 予定だ。

(6) つかれたので、わたしは 早く ねた。

(7) ゆう大な 山の 景色が ぼくを 元気づけた。

(8) ぼくと 弟の 一番の 好物は ライメンです。

ア 主語
イ 述語
ウ 修飾語
エ 接続語
オ 独立語

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

練習問題

1 次の各文の中から名詞をすべて書きぬきなさい。

(1) あそこにぼくの通っている学校があります。

(2) はげしい雨が部屋の窓をたたたく。

(3) わたしは有名な音楽家の演奏を聞いた。

(4) 今年も大型の台風が日本に上陸した。

2 次の各文の中から() に示した品詞のことはをぬき出し、言い切りの形に直して答えなさい。

(1) 何ごとも一生けん命に取り組もう。(動詞)

(2) 高い山に登りました。(形容詞)

(3) 静かに先生の話を書く。(形容動詞)

(4) 暗くなったので、家に帰った。(形容詞)

(5) 桜の花がすべて散った。(動詞)

3 次の各文の() にあてはまる副詞をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 風はなく、湖の水面は() 鏡のようだった。

(2) () お好きなものをお選びください。

(3) () 反対されても、ぼくはそこへ行く。

ア たとえ イ おそらく

ウ どうぞ エ まるで

(1)

(2)

(3)

4 次の() 線①～⑩から連体詞と感動詞をすべて選び、それぞれ記号で答えなさい。

①「おや、君はすてきなかばんを持っているね。」
 ②
 ③「ああ、このかばんは祖父からもらったもので、ぼくはこれを一番大切にしているんだ。」
 ④
 ⑤
 ⑥
 ⑦
 ⑧
 ⑨
 ⑩

連体詞

感動詞

5 次の各文の□にあてはまることばをそれぞれひらがな二字で

書きなさい。

- (1) 雨が降^ふっている□、子どもたちが公園で遊んでいる。
- (2) 発表会まであとたった三日□ない。
- (3) 体育の時間に、とん□走ったりした。
- (4) 祖母は、ひま□あれば、ねこと遊んでいる。

(3)	(1)
(4)	(2)

6 次の各文の□にあてはまることばをあと□から一つずつ

つ選び、適当な形に直して書きなさい。

- (1) 何かいいことが起こり□気がする。
- (2) 明日はおそらく雨□う。
- (3) 早く洗^{せん}たく物をほさ□ば、かわかないよ。
- (4) このきのこは食べ□ますか。

れる られる ない たがる
 そうだ らしい ようだ だ

(3)	(1)
(4)	(2)

7 次の(1)～(5)の——線部のことばの中から、他と種類の異なるもの

を一つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---------------------|------------------|-------------------|--------------------------|--------------------------|-----------------------------|---------------------------|---|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|---------------------------|--------------|-----------------------------|----------------|-------------|------------------------------|
| (5) | (1) | (5) | (4) | (3) | (2) | (1) | | | | | | | | | | | |
| エ | ウ | イ | ア | エ | ウ | イ | ア | エ | ウ | イ | ア | | | | | | |
| おやおや | いいえ、それはぼくの本ではありません。 | そろそろ、勉強を始めるとするか。 | もしもし、田中さんのおたくですか。 | おかしな話 ^わ を聞いた。 | 静かな夜を過 ^{すご} した。 | 大きな石が転 ^{ころ} がっている。 | あの映画 ^{えいが} を見たい。 | 父 ^{ちち} に厳 ^{きび} しくしかられる。 | 駅 ^{えき} へはどのようなように行くのですか。 | きのうから雨が降 ^ふ り続けている。 | きょうのうから雨が降 ^ふ り続けている。 | 朝は早く起き ^{おき} ている。 | かれの考えはすばらしい。 | 父はとても力が強 ^{つよ} かった。 | 勉強の時間が長く感じられる。 | 美しい花がさいている。 | あたたかな日が続 ^{つづ} いている。 |

(5)	(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----	-----